

編集・発行
さつま町消防本部
鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366
TEL 0996-52-0119
FAX 0996-53-0119
Web <http://119.satsuma-net.jp/>
mail shobo@satsuma-net.jp



県防災ヘリ合同山岳救助訓練 (P4 関連)

主な内容

- 1ページ……地震特集、火災調査ファイルVol.9
- 2ページ……危険物について
- 3ページ……さつま町消防団の情報
- 4ページ……秋の全国火災予防運動
県防災ヘリ合同山岳救助訓練
- 5ページ……指導救命士誕生、処置拡大について
救急研修会開催、職員研修報告
消防ほっと写真館

平成30年度 全国統一防火標語

忘れてない？
サイフにスマホに
火の確認

特集

「海溝型地震」と
「内陸型地震」

最近頻発する「地震」について紹介します

地震とは？

地下で起きる岩盤の「ずれ」により発生する現象で、発生のメカニズムから一種類に分けられます。

①海溝型地震

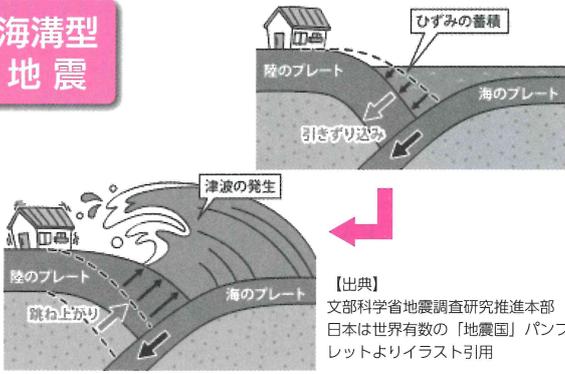
海の下にあるプレート
の沈み込みにより発生し
巨大地震になりやすく、
津波を伴うことがありま
す。東日本大震災のよう
に地震だけでなく、津波
による被害も広範囲に及
びます。

②内陸型地震

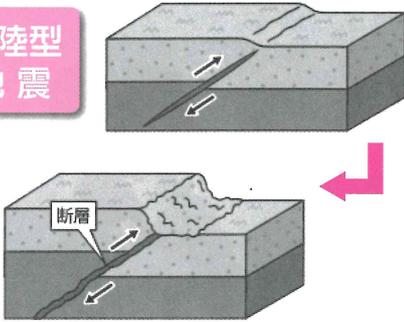
断層のずれによって発
生し、海溝型地震に比べ
規模は小さく、**直下型地
震**ともいいます。私たち
の生活している真下で起
こるため、被害が大き
くなります。

また、震源が比較的浅
いところがあり、緊急地
震速報が間に合わない場
合もあります。

海溝型
地震



内陸型
地震



今年9月に北海道胆振東

部で発生した地震は記憶に
新しいところですが、平成
28年に発生した「熊本地震」、
平成9年に旧宮之城町や旧
鶴田町に甚大な被害を与え
た鹿児島県北西部地震も内
陸型地震でした。

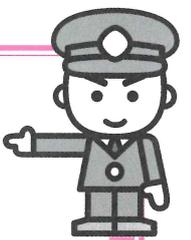


泊野地区 山林



旧宮之城高校校舎

いつ、どこで起こるか予
測するのが難しい地震!!
地震のニュースや防災週
間などの機会をとらえ、日
頃からの備えを心がけま
しょう。



火災調査ファイル

Vol.9

大地震のあとに起きる火災!!

「通電火災」という言葉を聞いた事がありますか。

地震により電気配線や家電製品のコードに物が落ちたり、家具などが倒れ下敷きになると、コードが切れたり傷んだりします。また、電気ストーブやアイロンなど熱を発生する家電製品を使用していた際に、スイッチが入ったまま埋もれたり、燃えやすいものと接触していたりする恐れがあります。停電しているうちは何事も無いのですが、いざ電気が復旧して通電することでショートしたり発熱したりして発生する火災を「通電火災」といいます。

通電火災の怖いところは、地震発生から、避難して家に誰もいないとき電気が復旧し火災が発生してしまう事です。時間差で火災が発生するため、消火が遅れて大きな火災に発展してしまいます。

○通電火災を起こさないために

- ・家具などは、転倒しないように固定しておくこと
- ・地震の揺れが収まったら、ブレーカーを落とすこと
- ・避難する前には、ブレーカーを落とすこと

以上の点に注意しましょう。

危険物のあれ?!これ?!知ってますか?!

わたしたちの身の回りに
は、いろいろな危険物が存
在します。

自家用車や農機具といっ
た機械の燃料に使用するガ
ソリン・軽油や混合油、農
業用ハウスや家庭用ボイラ
ーの燃料として使用する灯
油や重油などがあります。

この危険物：わたしたち
の生活には必要不可欠なも
のですが、その取扱いを一
歩間違えると、文字通り危
険な物となり、大切な命や
財産を一瞬にして失うこと
にもなりかねません。

ここでは、危険物の中
も一般的によく使用してい
るガソリンなどの危険物に
スポットをあてて解説しま
す。



区分	消防本部への届出が必要	市町村等の許可が必要
ガソリン	40L以上 200L未満 (100L以上)	200L以上
軽油・灯油	200L以上 1,000L未満 (500L以上)	1,000L以上
重油	400L以上 2,000L未満 (1,000L以上)	2,000L以上
アルコール類	80L以上 400L未満 (200L以上)	400L以上

※()は、一般家庭用として保管・取扱う場合の数量

この表を見るとわかるように、ガソリンなどは家庭でも多めに購入してしまうと届出等が必要になるので、注意が必要です!!



①危険物の貯蔵と取扱い
危険物の中でもガソリン
や軽油、重油などは火災が
発生するリスクが高く、大
量に保管すると大規模火災
へ繋がる可能性があります。
ガソリンスタンドや工場
などはもちろん、家庭で危
険物を使用・保管する場合
も、危険物に関する法令や
火災予防条例に基づいて貯
蔵・取扱いをしなければな
りません。

このような場合、貯蔵量
や取扱い量に応じて、消防
本部への届出や消防法令に
基づいた市町村等の許可を
受ける必要があります。
また、町内においても無
許可貯蔵や、取扱いによる
違反事例が発生しています
ので、ご注意ください。
(左表参照)

この部分をチェック!!



検定品や認定品であることを確認しましょう!!
シールやマークを確認!!

②保管と運搬方法

ガソリンや軽油、灯油な
どの危険物を保管する場合
は、法令で定められた基準
に適合している容器等に保
管しなければなりません。
特にガソリンや軽油につい
ては、揮発性が高く容器が
変質・変形して漏れること
により、火災の危険性が高
くなります。

ガソリンは、性能試験に
合格した金属製行缶で保
管・運搬してください。ま
た、軽油もガソリンと同様
に性能試験に合格した金属
製行缶または軽油専用の
ポリエチレン容器で保管・
運搬するようにしましょう。
その際は、ガソリンや灯油
と間違えないように『**軽油**』
と表示しましょう。

③購入時の注意点

セルフスタンドにおいて、
顧客自らがガソリンなどを
携行缶に注油する行為は、
消防法で禁止されています。
また、運転してきた車両
以外(荷台へ積載した車両
など)へ給油することも出
来ません。

このような場合は、必ず
従業員へ注油または給油を
依頼してください。



顧客による注油や
給油はできません!!



様々な現場で安全に活動するために

S-KYT(エス・ケイワイティー) 研修を開催!!

平成30年8月18日、宮之城ひまわり館において、団本部及び町内22分団の副分団長以上51名が参加してS-KYT研修が開催されました。

S-KYTとは、「消防団危険予知訓練(消防団:Shouboudan 危険:
キケン 予知:Yochi 訓練:Training)」の略称で、近年の産業界では広く実施され、労働災害防止に大きな成果を上げていたKYT(危険予知訓練)をベースにして消防団員向けに開発された訓練であり、災害現場に潜む危険を見抜く力を養い、災害現場で適切な対応能力を身に付け、団員の公務災害防止を図ることを目的とした研修のことです。



危険な部分の意見を出し合います!



指差しとかけ声で安全確認!

当日は専門機関(消防団員等公務災害補償等共済基金)から4名の指導員を招き、8班にチーム編成された団員が、活動の一場面を想定したイラストの中に潜んでいる危険を話し合い、考え合い、理解し合って危険予知のポイントを習得しました。

研修終了後、末吉団長は「研修で学んだことを各分団に持ち帰り、普及・実践に努め、団員の公務災害防止に役立てて欲しい」と述べました。

新型導入!

消防ポンプ車・小型ポンプを更新!!

このたび、山崎分団の消防ポンプ自動車と、柏原分団および南求名分団の小型動力ポンプの交付式がありました。山崎分団の消防ポンプ自動車は配備されてから22年、小型ポンプは柏原分団が18年、南求名分団が17年経過していたことから、更新されたものです。

交付式当日、各分団員は業者からの取扱説明を受けた後試運転を行い、操作方法を確認しました。

今後、地域の安全・安心のため大切に使われます。



柏原分団



山崎分団



南求名分団

我がまちを守る!

男性・女性消防団員を募集中!!

さつま町消防団では、22分団のうち15分団で1~3名の欠員が生じています。

全国的にも年々、消防団員数が減少しており、地域における防災力の低下が懸念されています。

入団を希望される方、または入団に関するお問い合わせは、下記消防本部消防団係までご連絡ください。

また、広報活動などを行っていただく女性消防団員も募集中です。



わたしたちと活動しませんか

問い合わせ先

さつま町消防本部 消防総務課 消防団係
☎(0996) 52-0119



なお、さつま町消防本部では、秋の火災予防運動として色々なイベントで火災予防をPRしていきますので、火災予防にご協力をお願いします。

の全国統一防火標語を合言葉に『秋の全国火災予防運動』が実施されます。さつま町内では平成30年9月30日現在、火災が7件（建物1件、林野1件、その他5件）発生しております。

11月9日から11月15日まで

秋の全国火災予防運動

が実施されます

11月9日(金)から15日(木)までの7日間、

「忘れてない？」

サイフにスマホに

火の確認」

消防署の一般開放

11月9日(金)

11月9日(金)

15日(木)

※緊急車両や消防庁舎内を見学することができます。

絵画作品展示

町内14の保育園・幼稚園の子ども達が描いた消防車両写生会の作品などを展示いたします。

期日及び場所

①11月3日(土)～4日(日)

宮之城武道館「厳翼館」

(さつま町文化祭)

②11月9日(金)～15日(木)

宮之城ひまわり館

※ひまわり館には県防火ポスター募集作品も展示します。



昨年の展示風景

さつまフェスタ

日時 11月18日(日)

10時～12時

場所 薩摩総合運動公園

グラウンド

イベント内容 放水体験や水消火器使用体験、救助体験、防火衣試着体験、煙体験、広報物品の配布、しびこども園幼年消防クラブによるお遊戯発表、観光大使かぐや姫による防火PRを実施予定です。



昨年のフェスタ



防火パレード

日時 11月24日(土)

10時30分～11時30分

区間 プラッセだいわ

吉祥園保育所

参加団体 吉祥保育園幼年消防クラブ、消防団(川原・虎居・中央・時吉・船木・女性部)、消防署、さつまるちゃんも参加予定です!!



昨年のパレード

※プラッセだいわ駐車場で出発式を行い、幼年消防クラブ員が「火の用心の歌」を披露します。また、防火パレード中に宮之城橋付近河川敷において、消防団による一斉放水も行いますので、ぜひご覧ください。

県防災ヘリとの

合同訓練



(写真は表紙にも掲載)

平成30年10月9日、田原の雨乞石周辺において、鹿児島県防災航空隊と合同山岳救助訓練を実施しました。「紫尾山の千尋の滝から男性が滑落し負傷した」との想定で、出動隊は雨乞石登山道入口に集結し、装備品と救助資機材を準備し登山を開始。山頂付近でロープなどを使用して負傷者を救出後、容態を考慮して県防災ヘリによる吊上救助を要請。ヘリへ収容した負傷者を地上まで搬送するものでした。

広大な山林を抱える当本部にとって、今回の訓練は相互連携を確認するうえで有意義なものとなりました。

救急研修会を開催

9月25日、米盛病院外科部長の畑倫明先生を講師に招き、救急研修会を開催しました。

体の構造について細かな講義のあと、職員からは活発な質問や意見交換もあり、救急現場で観察処置などを行ううえで大変有意義な研修となりました。



講師の畑倫明先生

指導救命士誕生!!

この度、河野秀樹消防士長が救急救命士研修所での研修や現場での処置経験、病院実習など特定の条件をクリアしたため、当本部初の指導救命士として県から認定されました。

この指導救命士とは、所属職員の教育・指導や県・地域との救急医療体制の調整など、多岐にわたり救急医療に係る役割を担うものです。更なる救急医療体制の充実を図るため、今後の活躍が期待されます。



**救急救命士の
処置拡大について**

救急救命士が実施できる救急救命処置に新たな項目が加わり、平成28年10月から当本部でも運用を開始しているところです。

なお、それぞれの新処置に対する認定救命士の数は次のとおりです。

- ①心肺機能停止前の静脈路確保（点滴）：8名
- ②血糖値測定とブドウ糖投与：8名

③ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管：6名

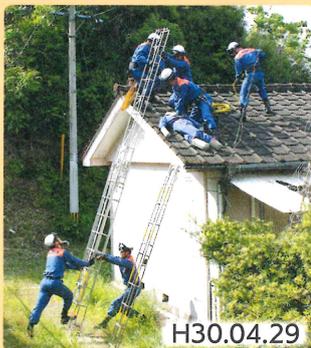
※救急現場では、ご家族や傷病者本人に説明して処置に対する同意を頂き、併せて医師の指示のもと、処置を実施しますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

**消防大学校での
研修報告会を実施!!**

平成30年6月7日から7月26日までの間、東京都調布市にある消防大学校での警防科研修を終えた松山憲隆消防司令補から、職員に対し研修報告会が行われました。学校生活や受講した講義内容をはじめ、研修を通じて感じたことなどが報告され、会に参加した職員は熱心に耳を傾けていました。



消防ほっと写真館



H30.04.29

解体予定建物での救出想定訓練
(旧城之口住宅)



H30.07.03~05

職場体験学習
(鶴田中学校)



H30.08.19

消防体験・庁舎見学
(流水小学校2年 学年レクリエーション)



H30.06.10

消防体験・庁舎見学
(佐志小学校2年 学年レクリエーション)



H30.05.23

社会科見学
(盈進小学校4年)



H30.05.25

社会科見学
(中津川小学校4年)



H30.07.28

廃車を利用した車両解体訓練
(消防署訓練場)



H30.09.25~27

職場体験学習
(山崎中学校)